### グラフ1 現時点での他の地域に伝えたい市の魅力は? (回答は5つまで)

33.2

28.7

31.6

29.9

33.5

12.6

15.2

15.8

11,4

10.3

<u>グラフ2</u> リニア時代に残しておきたい、あるいは高めたい

10

8.7

2.5

市の魅力は? (回答は1つまで)

2.6

3.6

2.8

1.1

2.1

0.9

2.3

1.5 0.7

4.9

6.1

10.2

①自然が豊富にある

②観光名所が豊富にある

③歴史文化が多く残っている

④農林業などの地域に根ざした 産業がある

⑤商工業などの基幹産業がある

⑨犯罪が少なく、安心して住める。

⑩災害に対する不安が少ない

⑪移動しやすい道路環境が整備 されている

⑥ゆとりある住環境である

⑧高齢者が過ごしやすい

⑫日常生活がしやすい

◎市民活動が盛んである

⑪近所づきあいがよい ⑤その他

①自然が豊富にある

②観光名所が豊富にある ③歴史文化が多く残っている ①農林業などの地域に根ざした 産業がある

⑤商工業などの基幹産業がある

⑨犯罪が少なく、安心して住める

⑩災害に対する不安が少ない

①移動しやすい道路環境が整備 されている

⑥ゆとりある住環境である

⑧高齢者が過ごしやすい

②日常生活がしやすい

(3)市民活動が盛んである

④近所づきあいがよい

⑤その他

員

20

人程

度

先着

順

内

線

⑦子育てがしやすい

⑥無回答

⑦子育てがしやすい

### こと)と「リニア・鉄道館」 て、 スツアー に向けたアンケー 先月に続き、「リニアのまちづくり シリーズでお伝えしています。 IJ 査の結果 ニア中央新幹線」 ·の参加者募集につい 果 (市の ト」の市民アンケ 魅力に関する 計 324 画につい いてお伝 親子バ T

## リニア推 進 課 **8** 内線

市民アンケー

ト調査の結果③

# 0 「自然が豊富にある」の回答が最も、魅力を尋ねる設問については、 時点での他の地域に伝えたい 次いで 「歴史文化が多く残

だと答えています。 にある」ことが現時点での市の魅 位に挙げられました。(グラフ1参照) いる」「観光名所が豊富にある」「犯 が少なく、 若い世代ほど「自然が豊富 安心して住める」が上 力

アンケート調査の結果③と親子バスツアーの参加者募集

市民とともにリニアのまちづくり?

夢の実現へ

リニア中央新幹線③

的 ねる設問については、い、あるいは高めたい 罪が少なく、安心して住める」、伝統 地など「観光名所が豊富にある」「犯 たいと回答され、 然が豊富にある」ことを残しておき あるいは高めたい市の魅力を尋 身近にある山 歴史文化が多く残っている」 次いで街道 や川などの「自 4 割を超える や景勝

次に、リニア時代に残しておきた

06無回答 4.7 リニア駅へ移るなど、 点となってい ところ لح \* 第 傍 4 13 聴 き 回 をお願いします。 時50分の間に会場 を 2 月 18 健 希 こジョン策定委員会開催 康福祉会館 ましたが、 階多目的ホ 日(月) 14 時

⑤外食、 が多いことが分かりました。 との交流 心部が多くなっており、親戚・知物や通院などは市中心部や恵那市 き先を尋ねる設問では、日常の買 力だと答えています。(グラフ2参照) 時代に残しておきたい市の 11 (1 ほど「自然が豊富にある」ことをリ ことなどが上 ニア時代にも残しておきたい市の魅 次に、 て、 物、 問と同様な傾向となり、 目的別 ③ 通院、 ⑥レジャー 市内の日常交流の状況につ は、 自地域内や隣接 (① 通勤・ ④親戚・ など)の主な行 通学、 知人訪問、 若い世代 魅 力も、 地域 ② 買 内 人 61 中

えられます な余暇活動などには影響があると考 影響は大きくないと考えられます リニアが開業しても、 観光やレジャーなどの非日常的 日常交流

0

これまでは、 化を及ぼすことが想定されます。 市 中心部が交流の 地域構造にも その 部が 拠

# リニアのまちづくり

望される方は13時 入口にて ル 30 分

# 親子バスツアー リニア市 民の 会「リニア・鉄道 参加者募集

開催日 ツアーを開催します。 いただくため、 たちに、リニア関係施設の見学を通 リニア中央新幹線まちづくり推 リニア中央新幹線の理解を深め (市民の会では、将来を担う子ども 3 月 17 日 田 小学生対象の親子バ 進 ス て 中 L

見学先 学生 象お (1人) 計40 (2人まで)と父母のいずれよび定員 市内在住の親子で 名古屋市科学館JR東海リニア・ 8時市役所 人 (15組程度) 正 面 玄関 鉄道 前

小

か

加費 無料

- 主催者負担 の入館料および名古屋市 (展示室のみ) バス代、 リニア鉄道 科学館 観 覧館
- 参加者負担 (電車運転体験、 覧料など) 右記以外の プラネタリウム観 料 金

応募方法 の氏名・学校名・学年を明記親の住所・氏名・電話番号、 昼食は各自負担。 ハガキによる申し込み 弁当持参 可 小 学 生

応募締切 ※応募は 果は、 ます。 応募者多数の場合は 2月末までに応募者 一世帯につき一通まで。 2 月 15 |合は抽選。抽選の結||日\| 出選り指||日 「へ通 知

応募先 〒508 リニア市民の会親子見学会宛中津川市リニア推進課 リニア中央新幹線まちづく 28 進 中津 324JiI 市民の会事務 8 5 0 1 住 旂 不要 n